

FDA日米バランスファンド （積極型） 〈愛称〉 みどりの架け橋・積極型

第2期（決算日 2024年10月7日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	①主として、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債（以下「各資産」といいます。）を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）に分散投資を行います。 ②各資産を投資対象とするETFへの基本投資配分比率は、株式会社FDAIcoの投資助言に基づき、決定します。
主要投資対象	日本株式、日本国債、米国株式、米国国債を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、元本超過額、または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「FDA日米バランスファンド（積極型）」は、このたび第2期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL  <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL  リテール営業部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			投資組入比	純資産総額
		税金	込	中		
(設定日) 2023年2月27日	円 10,000	円	騰	率	%	百万円 4,004
1期(2023年10月10日)	11,487	0		14.9	97.5	4,711
2期(2024年10月7日)	14,253	0		24.1	97.5	6,153

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 当ファンドは、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

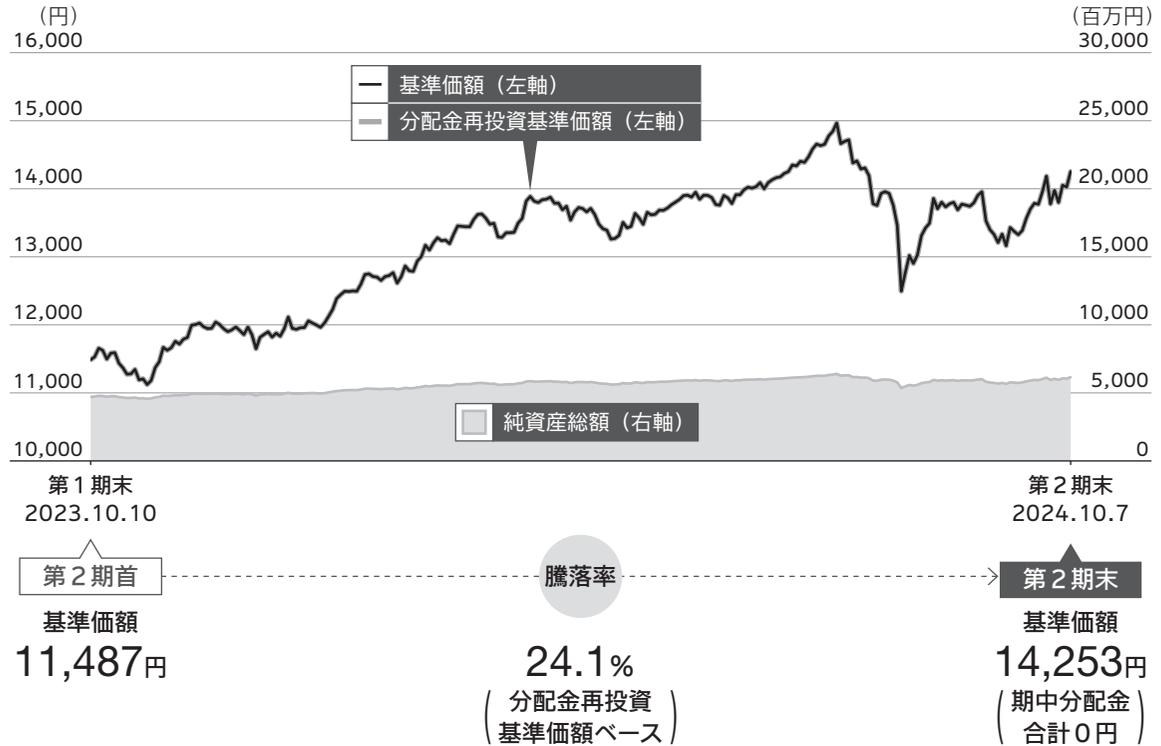
年月日	基準価額	騰落率		投資組入比	託券率
		騰	落		
(期首) 2023年10月10日	円 11,487		% -		% 97.5
10月末	11,181	△	2.7		97.3
11月末	11,926		3.8		99.1
12月末	11,997		4.4		98.6
2024年1月末	12,767		11.1		98.0
2月末	13,442		17.0		98.4
3月末	13,876		20.8		97.8
4月末	13,637		18.7		97.4
5月末	13,759		19.8		98.4
6月末	14,404		25.4		98.1
7月末	13,932		21.3		98.7
8月末	13,794		20.1		97.9
9月末	13,777		19.9		97.5
(期末) 2024年10月7日	14,253		24.1		97.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年10月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券を主要投資対象とします。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

● 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+24.1%となりました。

主に国内株式、米国株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

● 投資環境

○国内株式市場

国内株式市場は、上昇しました。

期初から2024年7月上旬にかけて、中東情勢の悪化懸念などで下落する局面もあったものの、米国の金融引き締め長期化懸念が和らいだことや、日銀が金融緩和を維持したことなどから、国内株式市場は上昇基調で推移しました。7月末に行われた日銀の金融政策決定会合において利上げが決定されたことや、米国の雇用統計が市場予想を大きく下回ったことから米国の景気後退懸念が高まりドル円が高ドル安に急激に動いたことから、急落しました。その後、市場は落ち着きを取り戻し、安値から大きく反発しました。期末にかけて、米国の景気後退懸念から下落した局面もあったものの、FRB（米連邦準備理事会）が0.5%の利下げを行い、米経済のソフトランディング（景気後退を招くことなく安定成長に移行させること）期待が高まったことなどから、上昇しました。

日経平均株価の推移



○米国株式市場

米国株式市場は、上昇しました。

期初から2024年7月中旬にかけて、利下げ期待の後退や、中東情勢の悪化懸念から下落する局面もあったものの、市場予想を下回る物価指標などを受けて、FRBによる政策金利の引き下げ観測が高まったことから、上昇基調で推移しました。8月初旬には、雇用統計などの米国の経済指標が市場予想を下回ったことで景気後退懸念が高まり、大きく下落する局面もあったものの、期末にかけて、利下げ開始に対する期待感の高まりや、FRBが0.5%の利下げを行い、年内の追加利下げの見通しも示したことで投資家心理が改善したことなどから、上昇基調で推移しました。



○国内債券市場

国内債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

期初から2023年11月初旬にかけて、日銀による金融政策修正に対する思惑などから、国内債券利回りは、上昇基調で推移しました。その後、12月下旬にかけて、欧米で利上げ打ち止め感が強まる中、欧米の国債利回りが低下（価格は上昇）し、国内債券利回りも大きく低下しました。2024年7月下旬にかけて、日銀が早期に金融政策の正常化を進めるとの見方が強まったことなどから、利回りは上昇基調で推移しました。7月末に行われた日銀の金融政策決定会合では、追加利上げを決定しました。8月初旬に、米国の雇用統計が市場予想を大きく下回ったことから景気後退懸念が高まり、大幅な株安と円高が進行し、利回りは大幅に低下しました。その後、期末にかけて、やや利回りは上昇しました。

日本債券（10年債）利回りの推移



○米国債券市場

米国債券利回りは、低下しました。

期初から2023年10月中旬にかけて、強い経済指標から、金融引き締めの長期化が懸念され、米国債券利回りは、上昇しました。その後、12月末にかけて、経済指標が市場予想を下回ったことから、利下げの議論が開始されたことを受けて、利回りは低下しました。2024年4月下旬にかけて、経済指標が堅調だったことを受けて、利下げ観測が後退し、利回りは上昇基調で推移しました。その後、7月下旬にかけて、雇用統計や消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどをを受けて、利下げ期待が強まり、利回りは低下基調で推移しました。9月中旬にかけて、雇用統計が市場予想を下回ったことから、利下げ観測が高まり、大きく低下したものの、期末にかけては雇用統計などの経済指標が堅調だったことを受けて、上昇しました。

米国債券（10年債）利回りの推移



● 当該投資信託のポートフォリオ

FDAlco社の助言を受けて、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券に分散投資を行い、以下の内容のリバランスを実施しました。

2024年3月中旬に、国内株式から国内債券、米国債券ヘシフト、7月中旬に国内債券を中心値に戻すリバランス、8月上旬と10月上旬に、基本投資配分比率に戻すリバランスをそれぞれ実施しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券に分散投資を行います。そのため当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期 2023.10.11~2024.10.7
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,252

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

引き続き、FDAlco社の助言を受けて、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券に分散投資を行い、投資収益の獲得を目指します。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第2期 2023.10.11~2024.10.7		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.382%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,207円です。
（投信会社）	(35)	(0.262)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(12)	(0.087)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(0)	(0.001)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	51	0.395	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

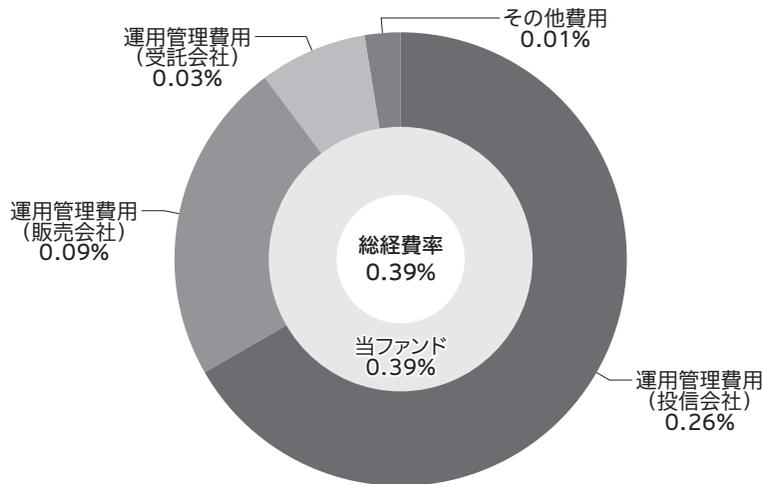
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.39%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年10月11日～2024年10月7日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Iシェアーズ・コア日経225ETF	8,580	303,273	1,107	44,306
	Iシェアーズ・コアJP GOV BOND ETF	74,911	178,744	43,793	104,756
	合計	83,491	482,018	44,900	149,063
外国	アメリカ		千アメリカ・ドル		千アメリカ・ドル
	ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	5,392	508	1,477	144
	VANGUARD S&P 500 ETF	—	—	923	443
	小計	5,392	508	2,400	587

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未满是切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年10月11日～2024年10月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年10月7日現在)

国内投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
I シェアーズ・コア日経225ETF	53,994	61,467	2,516,458	40.9%
I シェアーズ・コアJP GOV BOND ETF	196,880	227,998	540,127	8.8%
合 計	250,874	289,465	3,056,586	
	銘柄数<比率>	2	<49.7%>	

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)			千アメリカ・ドル	千円	%
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	34,466	38,381	3,702	549,727	8.9%
VANGUARD S&P 500 ETF	31,533	30,610	16,120	2,393,448	38.9%
合 計	65,999	68,991	19,823	2,943,175	
	銘柄数<比率>	2	—	<47.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年10月7日現在)

項 目	当 期 末
	評 価 額
投資信託受益証券	5,999,762
コール・ローン等、その他	164,735
投資信託財産総額	6,164,497
	比率
	97.3%
	2.7%
	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(2,996,673千円)の投資信託財産総額(6,164,497千円)に対する比率は、48.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=148.47円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年10月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,164,497,047
コール・ローン等	163,268,135
投資信託受益証券(評価額)	5,999,762,218
未収配当金	1,466,359
未収利息	335
(B) 負債	11,386,720
未払解約金	1,107
未払信託報酬	11,188,601
その他未払費用	197,012
(C) 純資産総額(A-B)	6,153,110,327
元本	4,317,094,165
次期繰越損益金	1,836,016,162
(D) 受益権総口数	4,317,094,165口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,253円

(注1) 信託財産に係る期首元本額4,101,834,218円、期中追加設定元本額260,431,193円、期中一部解約元本額45,171,246円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1.4253円

○損益の状況 (2023年10月11日～2024年10月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	90,292,365
受取配当金	89,908,326
受取利息	393,656
支払利息	△ 9,617
(B) 有価証券売買損益	1,081,662,093
売買益	1,105,921,450
売買損	△ 24,259,357
(C) 信託報酬等	△ 21,741,890
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,150,212,568
(E) 前期繰越損益金	593,362,913
(F) 追加信託差損益金	92,440,681
(配当等相当額)	(40,065,860)
(売買損益相当額)	(52,374,821)
(G) 計(D+E+F)	1,836,016,162
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,836,016,162
追加信託差損益金	92,440,681
(配当等相当額)	(40,065,860)
(売買損益相当額)	(52,374,821)
分配準備積立金	1,743,575,481

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2023年10月11日～2024年10月7日)は以下の通りです。

項 目	2023年10月11日～ 2024年10月7日
a. 配当等収益(費用控除後)	88,618,239円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	1,061,594,329円
c. 信託約款に規定する収益調整金	92,440,681円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	593,362,913円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,836,016,162円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,252円
g. 分配金	0円